

社会の期待と要請に応える 企業を目指して

皆さまにおかれましては、日頃よりご支援とご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。
また、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の被災者、犠牲者の方々に対して、
あらためて心からのお見舞いとお悔やみを申し上げます。



代表取締役社長

加藤 好文

“選ばれる企業グループ”を目指して

皆さまのご支援により、京阪電車は平成22年4月に開業100周年を迎えることができました。『京阪グループは、人の暮らしに夢と希望と信頼のネットワークを築いて、快適な生活環境を創造し、社会に貢献します。』という経営理念のもとに鉄道を中心とした生活サービスを提供していますが、これからもより多くのお客さまに「京阪がいい」と積極的に選んでもらえるようなサービスや商品を創出し、地域社会の発展に貢献できる企業グループを築いてまいります。CSRに関しましては、鉄道事業におけるさらなる安全性の確保と地域社会の要請に応えることが私たちの果たすべき社会的責任の基軸

テーマと考えます。そのため、お客さま、沿線住民をはじめとするステークホルダーの皆さまとの対話をこれからも継続し、私たちへの期待に柔軟かつスピーディに応えていきたいと考えています。

「安全とチャレンジ」を経営の方針に

さて、先般の社長就任に際し、私は「安全とチャレンジ」を今後の経営の方針としました。鉄道100年の長い歴史で培われた「安全・安心」は何があっても失ってはいけないものです。当社は40年以上も前から部門横断管理による安全対策を実施しており、鉄道の安全に対する取り組みはマネジ